

ROBERT DENIRO | ROBERT DUVALL

*True Confessions*

世界の二大名優が最高のハード・ミステリーへあなたを誘う!

ギルデンフェニックス  
\*本年度ベニス国際映画祭主演男優賞受賞  
イタリア映画批評家協会受賞



モデル殺人事件の真相を追う兄は刑事  
その事件に関わった弟は神父  
兄は弟に言った。「お前も、地獄に墮ちろ」



# ロバート・デ・ニーロ | ロバート・デュバル 告白

バージェス・メレティス / チャールズ・ダーニング  
ケネス・マクミラン / エド・フランダース / シリル・キューザック  
製作アーウィン・ウィンクラー / ロバート・チャートフ / 監督ウール・グロスバード  
脚本ジョン・グレゴリー・ダン / ジョーン・ティティオン ◆ 原作ジョン・グレゴリー・ダン

United Artists  
カラー作品 / ユナイテッド・アーティスト

香港  
10051  
表装

# \*解説

兄弟がいた。貧しいアイリッシュ・カソリックの家庭に生まれた二人のうち、長じて兄は法の番人として警察官に。弟は信仰の世界に入り、聖職の道を歩む。天と地ほどに違う境遇に身を置いた兄と弟の間に、いつしか生じる微妙な感情のきしみ。その内面の葛藤と緊張にやがて一つの臨界点がおとずれる。

胴体を真二つに切断され、腿にバラの刺青をした若い娼婦の惨殺体。真犯人を追う兄の仮借なき捜査の手は、腐敗したカソリック総本山の内側にまで及び、そこに事件のカゲに見え隠れする弟の姿を見る——!

カリフォルニア州ロサンゼルス1940年代後半。一獵奇殺人事件が波紋を広げたLAカソリック・コミュニンの中の錯綜した人間模様。カインとアベル以来、愛と憎悪の対極に位置する兄弟の角逐を軸に、人間の原罪と偽善に鋭く肉迫した第一級のハード・ミステリーである。

原作はニューヨーク・タイムズが「ハメットよりタフ」と絶賛したジョン・グレゴリー・ダン・ベストセラー小説。これをダンとその夫人でやはり作家のジョン・ディエイオンが「スター誕生」に続いて共同脚色。オフ・ブロードウェイ出身の演出家で「ストレート・タイム」のウール・グロスバードが監督した。製作は「ロッキー」「レイジング・ブル」のロバート・チャートフ、アーウィン・ウィンクラーの名チーム。

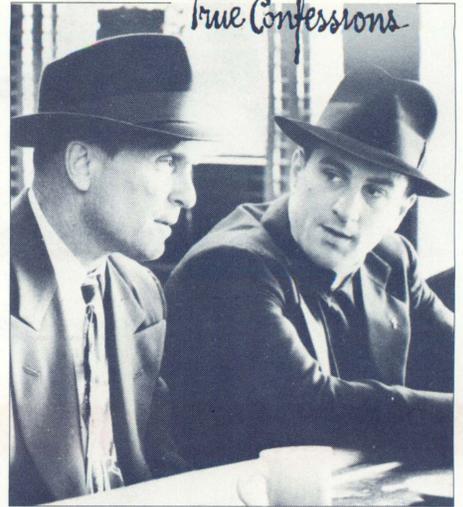
キャストは、カソリックの高位を日ぞす僧侶の弟に「レイジング・ブル」でアカデミー主演男優賞を獲得した絶好調の演技派ロバート・デ・ニーロ。対して非情な殺人捜査を展開する兄の警部補に「ゴッドファーザー」「地獄の黙示録」などアカデミー賞ノミネートの実力派ロバート・デュバル。この息詰まる競演は本年度ベニス国際映画祭では仲良く主演男優賞に輝き、次期アカデミー賞の有力候補でもある。

加えて、「フィナル・カウントダウン」のチャールズ・ダーニング、「タイタンの戦い」のバージェス・メレディス、「ジャッカルの日」のシリル・キューザック、「マッカーサー」のエド・フランダース、ケネス・マクミラン、ローズ・グREGORYオラ映画・演劇界の最高演技陣がくつわを並べている。



DE NIRO || DUVALL

True Confessions



ロバート・デ・ニーロ || ロバート・デュバル

# 告白

＜カラー作品＞ United Artists ユナイ映画

### ＜スタッフ＞

監督.....ウール・グロスバード  
 製作.....アーウィン・ウィンクラー  
 .....ロバート・チャートフ  
 原作.....ジョン・グレゴリー・ダン

### ＜キャスト＞

デス・スベラシー(尚書官).....ロバート・デ・ニーロ  
 トム・スベラシー(強盗殺人課警部補).....ロバート・デュバル  
 ジャック・アムステルダム(建設業者).....チャールズ・ダーニング  
 ダン・T・キャンピオン(弁護士).....エド・フランダース

## \*ストーリー

1962年。カリフォルニアの砂漠に建つ小さな教会。司祭デス・スベラシー(ロバート・デ・ニーロ)は、数年ぶりて実兄のトム・スベラシー警部(ロバート・デュバル)の訪問を受けた。老境に入った兄と弟の話題は、過去の、ある事件へさかのぼっていった。

ロサンゼルス1948年。カソリック界の若きホープであるスベラシー尚書官が執り行なう華やかな婚礼の儀。花嫁の父は教会と深く関わる建設業界の大立物ジャック・アムステルダム(チャールズ・ダーニング)である。法王座には枢機卿ヒュー・ダナバー(シリル・キューザック)、教区のやり手弁護士キャンピオン(エド・フランダース)らの顔も見える。それはあたかも当時のカソリック社会の濃んだ空気を象徴するシーンだった。

そんな時、教区全体を揺るがすシロッキングな殺人事件が発生した。ロス郊外の空き地で発見された女の死体は、胴体をもとの見事に切断され、腿には妖しいバラの刺青が施されていた。事件担当は市警本部のトム・スベラシー警部補と同僚フランク・クロレイ警部補だ。ほどなく死体の身元が割れた。次の誕生日で22才になるはずの娼婦ロイス・ファゼンダだった。

トムはデスをホテルのレストランに呼び出した。お互いの奥底に潜む偽善と腐敗の根にある種の苛立ちを感じる二人。そこへ不意にアムステルダムが現れた。トムは調査時代に関わった彼とのダイナミックなサレ縁を弟の面前で暴き立てた。

捜査は進展し、被害者ファゼンダがポルノ映画に関与していたことが突きとめられた。さらに被害者の手帳から、ファゼンダとアムステルダムが娼婦と客の関係だったこと、デスとアムステルダムとの電話上のつながりが発見された。トムの心にふとカソリックの高位にのぼりつめようとする弟デスの顔が浮かぶ。

だが、アムステルダムは末期のガンに冒されており、ファゼンダが殺害されたと思われる夜、彼は放射線の治療を受けていたという。一方、キャンピオンがデスを訪ね、生前のファゼンダと関係があったことを打ち明けた。

やがて、ローナ・キーンという娼婦がつかまり、女の口からファゼンダとポルノ映画の関係が明るみに出た。作品は海岸近くの陸軍兵舎跡で製作されていたという。現場を捜しあてたトムは、中へ入った途端、声にならないうめきをあげた。あたり一面にどす黒く固まった血の海。まさしくファゼンダ殺害の現場だ。トムの脳裏を一瞬、デスを始めとする多くの教会関係者たちの顔がすめた……!

新春第2弾ロードショー!  
 特別鑑賞券1200円(当日一般1500円 学生1300円)発売中

有楽町せごう側

有楽町 **スバル座** (212) 2826

日・祝 10:10 平日 12:10 2:25 4:40 6:55

歌舞伎町コマ劇場前

**新宿アカデミー** (202) 0141

連日 11:00 12:55 3:05 5:15 7:25